

第3回わかやまりノバージョンまちづくり構想検討委員会

前回の主な発言と 女性の就業・起業、子育て環境について

和歌山市

平成28年10月20日



第1回委員会の主な発言

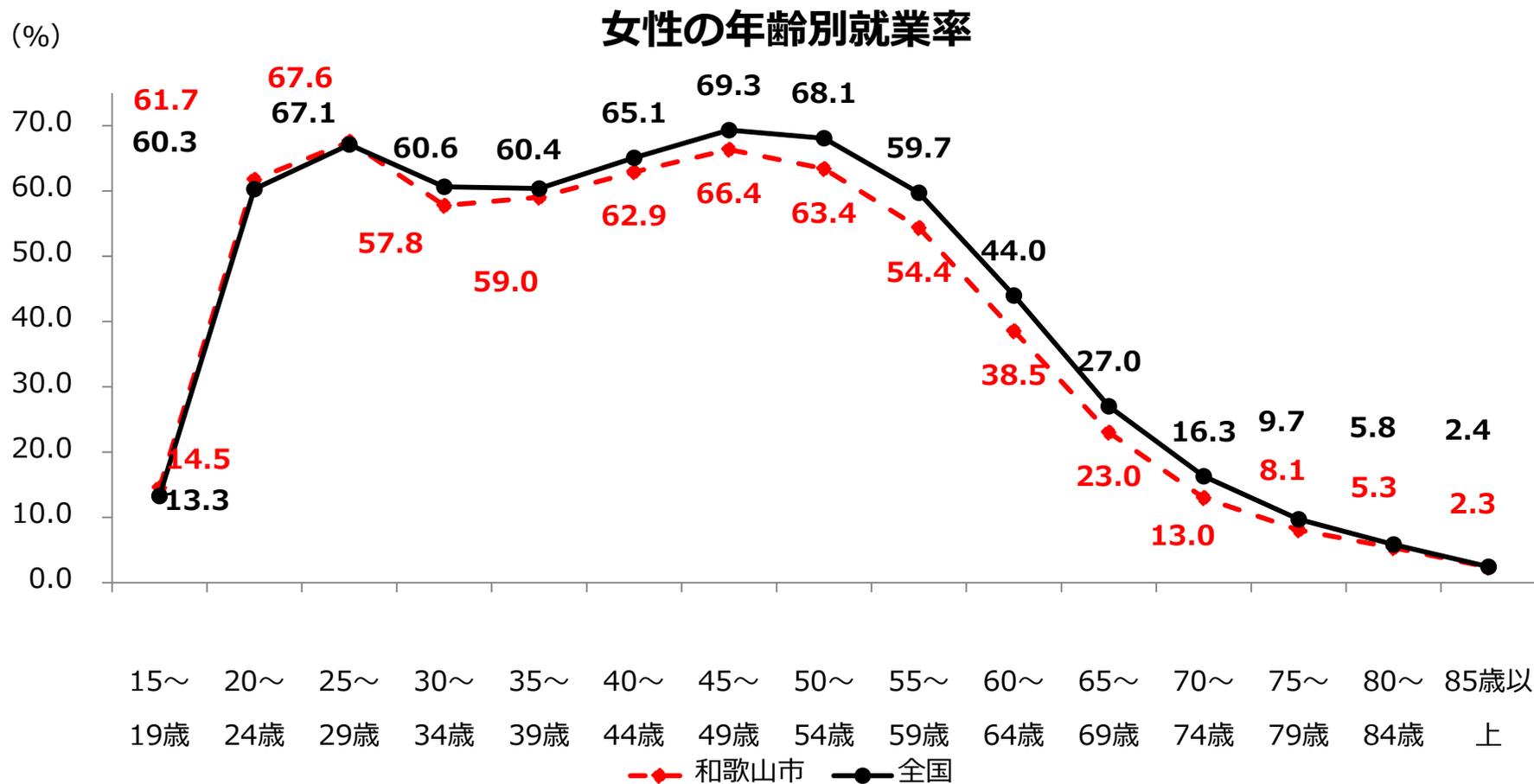
- まちなかに体験型市民農園をつくり、緑のあるまちと農で楽しむまちを実現させてほしい。
- まちなかの駐車場を農地にし、収穫したものをまちなかの飲食店で食べられるようにしてはどうか。
- 空き家を埋めた後のことまで考え、労働力の流出を防ぐ取組をディスカッションする必要がある。
- つくると同時に、何を捨てるのかを考えていかなければならない。
- 学生を巻き込んで、面白い仕事を創り出し、まちなかで起業する仕組みを作るべき。
- 加太には、古い木造家屋や廃業した民宿等のストックがたくさんあり、まちなかにつないで考えていくべき。
- 和歌山大学の学生がまちなかに来て帰るための交通手段を考える必要がある。

第2回委員会の主な発言

- 和歌山大学生をまちなかへ送迎するナイトバス・ナイトタクシーを実現させたい。
- 加太の川沿いにある繊維工場を飲食店にするとよいのではないか。カフェや農業をする人たちと一緒に、建物、農地、港をつないで面で展開できるとよい。
- 南海電鉄のプロモーションにより、車が入ってこない路地の空き家の軒先でマーケットを開催してはどうか。
- その地域にある空き家を全部宿として使うのが、加太のまちに合うのではないか。
- 空き家の用途を変更する際、建築基準法を守りつつ、上手く活用できる仕組みの検討が必要。
- 和歌山電鉄、和歌山駅、市駅、加太を結ぶ電車を一本化できないか。
- 加太の一番美味しい魚介類は、加太でなければ食べられないようにすれば全国的なブランドになるのではないか。

本市女性の就業率

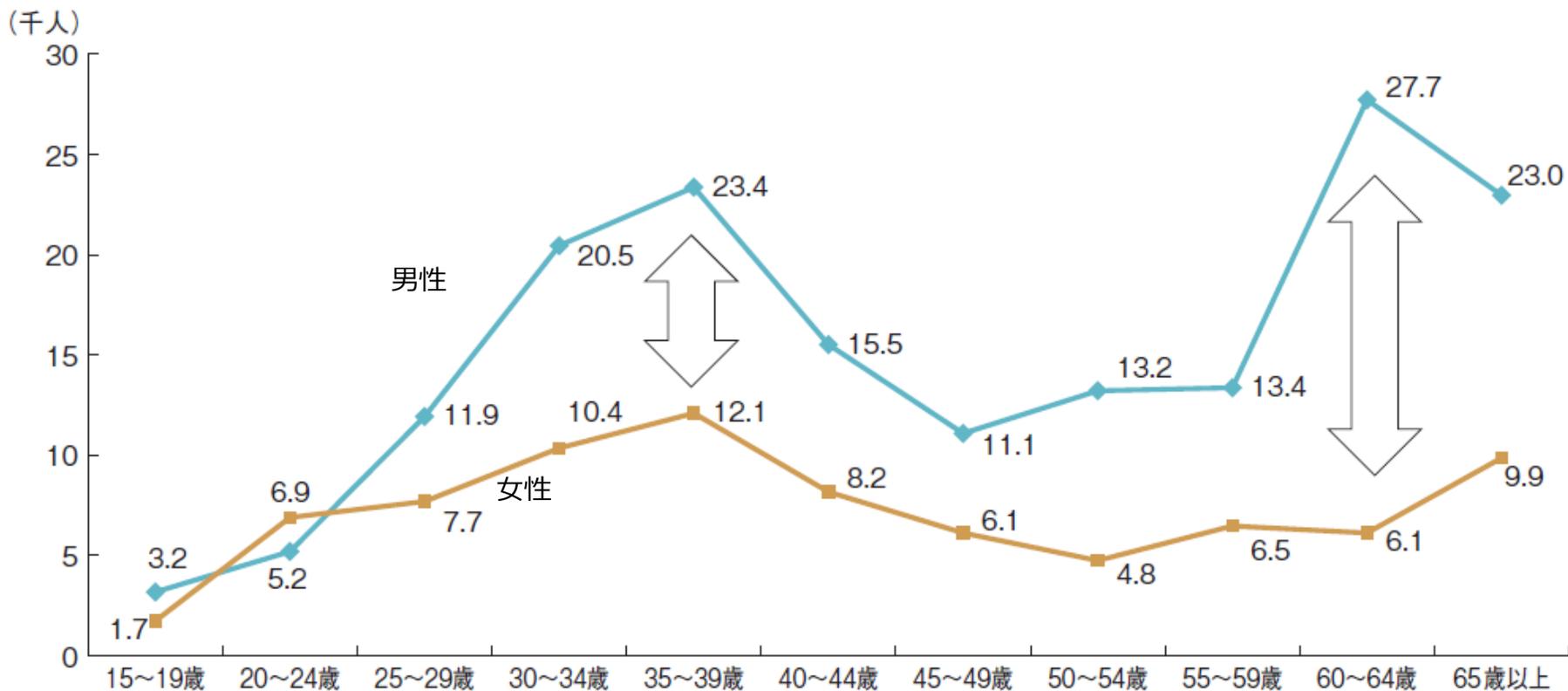
本市の30代以上の女性就業率は全国平均より低く、女性が就業しやすい環境を整える必要がある。



出典：平成22年国勢調査（総務省）

男女別・年代別の起業家数

- ・ 起業家数では、ほぼ全ての年代で男性が女性を上回っている。
- ・ 男性は30代と60代が多いのに対し、女性は30代での起業が多い。

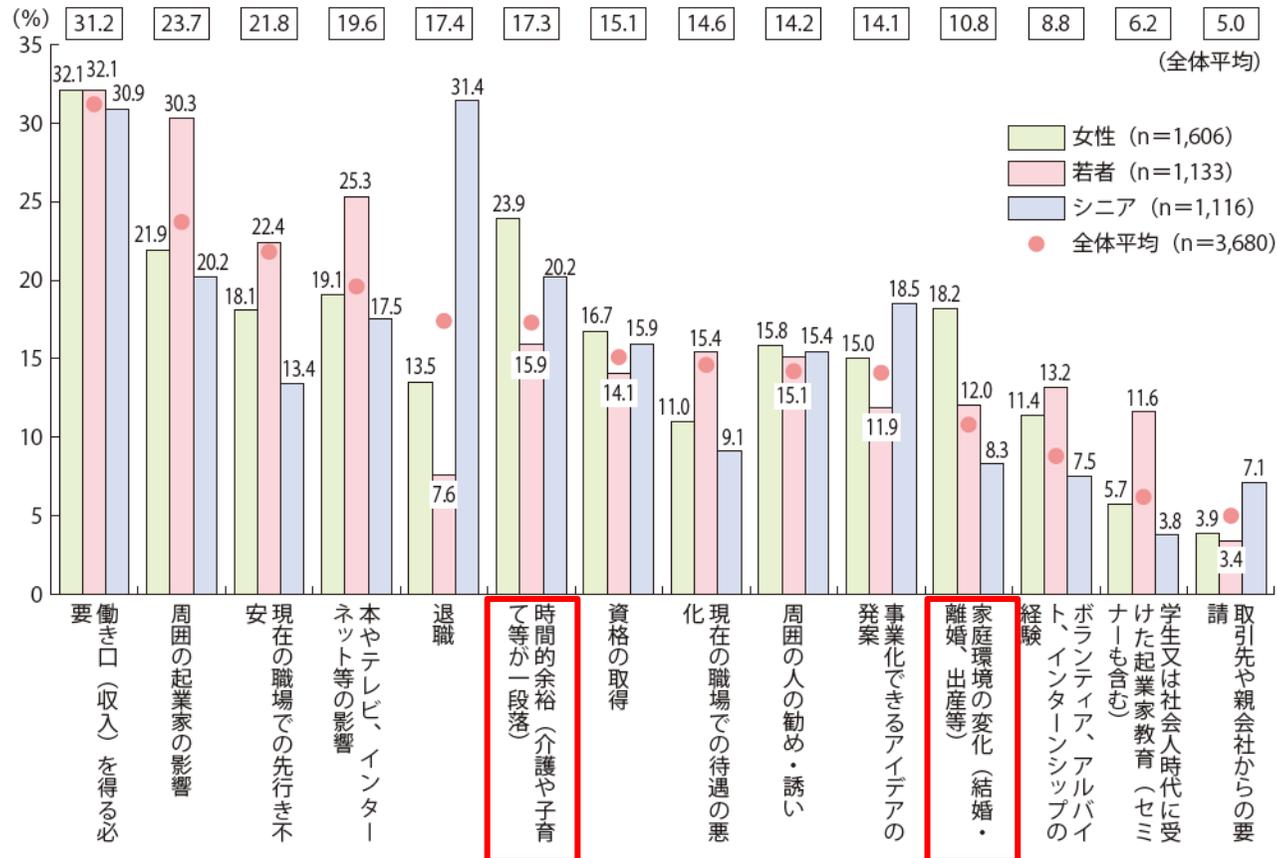


資料：総務省「平成19年就業構造基本調査」再編加工

(注) ここでいう起業家とは、過去1年間に職を変えた又は新たに職に就いた者のうち、現在は自営業主(内職者を含まない。)となっている者をいう。

起業を意識したきっかけ

「時間的余裕（介護や子育て等が一段落）」や「家庭環境の変化（結婚・離婚、出産等）」といった家庭面に関する要因が多い。

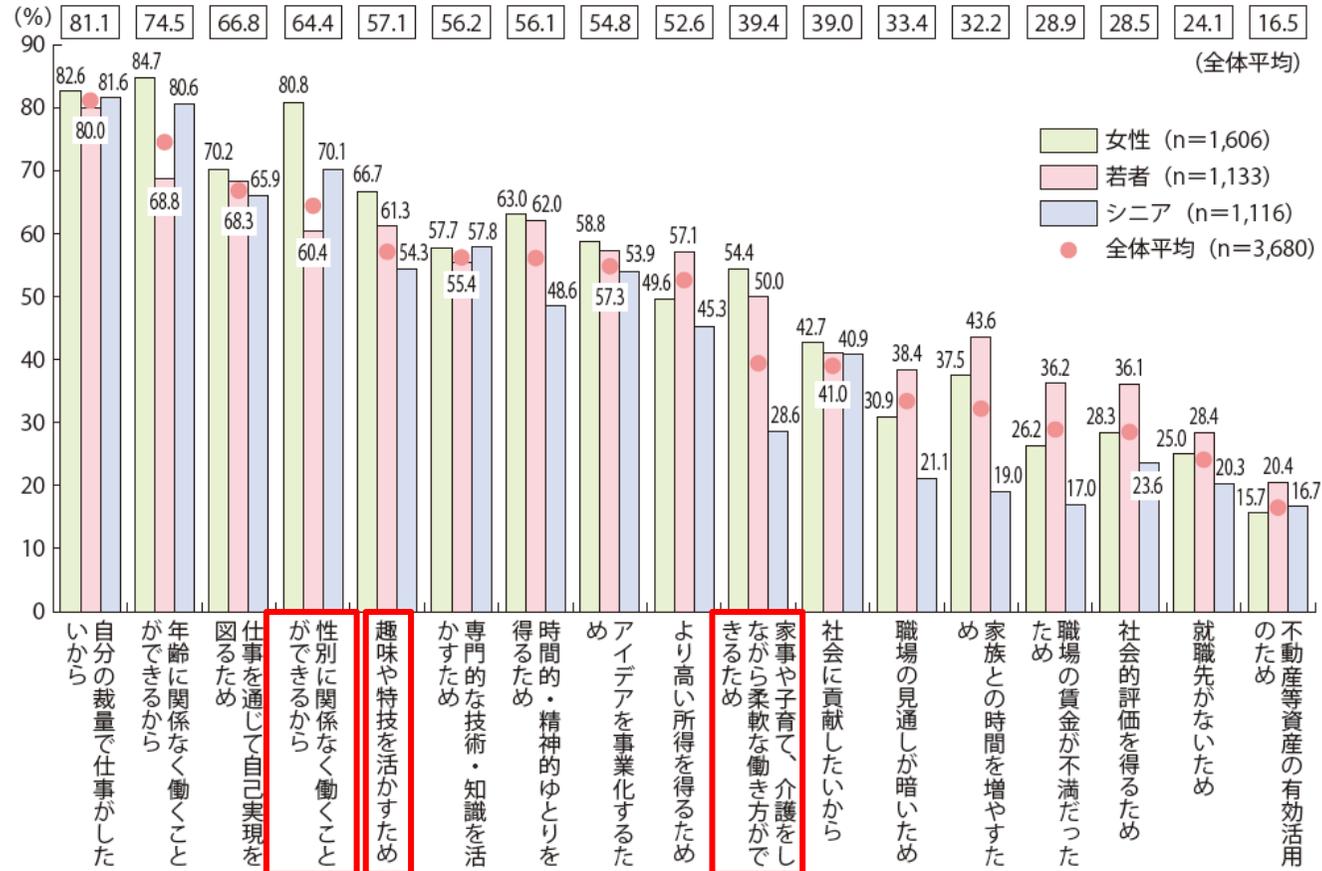


資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

- (注) 1. 複数回答であるため、合計は100%にはならない。
 2. 回答した割合が5%未満の選択肢は表示していない。

起業を志した理由

「性別に関係なく働くことができるから」「趣味や特技を活かすため」「家族や子育て、介護をしながら柔軟な働き方ができるため」といった傾向が見られる。

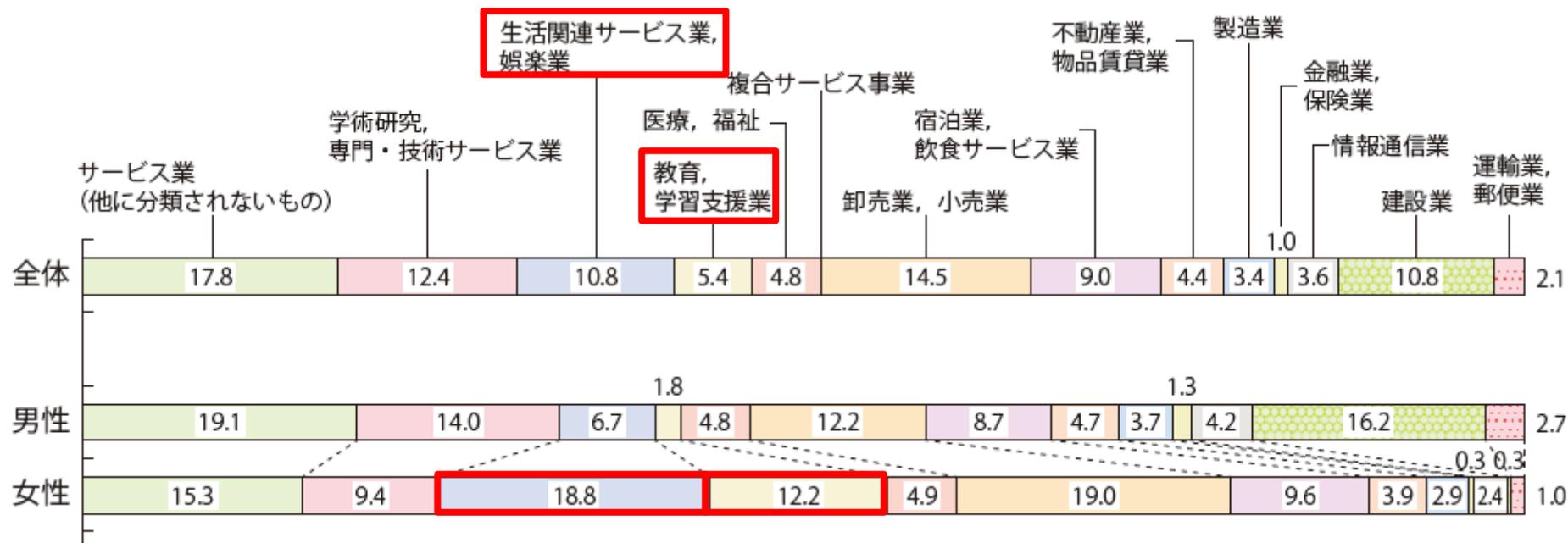


資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）
 (注) 各項目に対して「当てはまる」と回答した割合を集計している。

出典：中小企業白書2014年版（中小企業庁）

男女別の起業分野

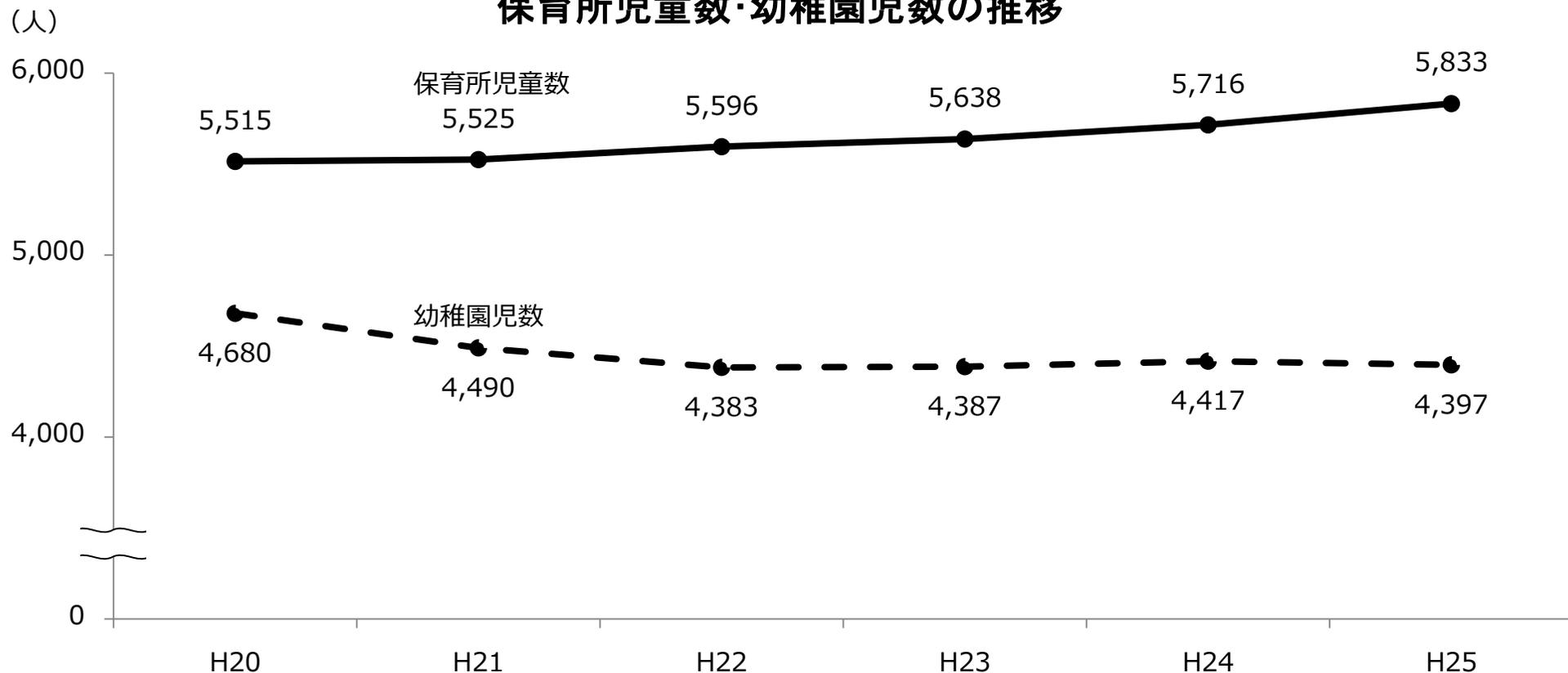
子育てや介護等、生活のニーズに根ざした「生活関連サービス業、娯楽業」、また趣味や前職で特技等を活かした「教育、学習支援事業」等の個人向けサービス業の割合が多い。



本市の保育所児童数・幼稚園児数

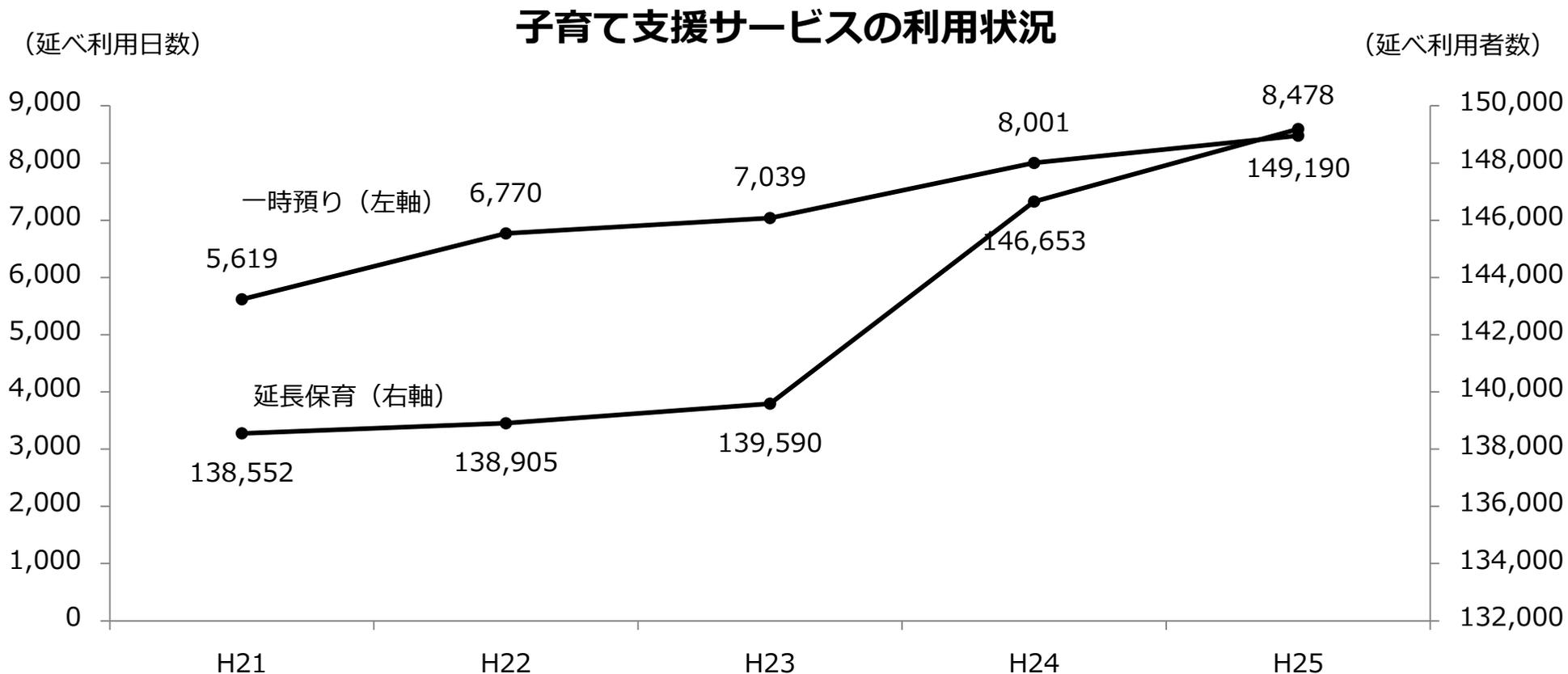
幼稚園の利用園児数は減少傾向にある一方、保育所の利用児童数は増加しており、需要が高まっている。

保育所児童数・幼稚園児数の推移



子育て支援サービス

一時預り（延べ利用日数）、延長保育（延べ利用者数）ともに増加し、子育て支援サービス利用の需要が増加している。



出典：平成27年和歌山市子ども・子育て支援事業計画（和歌山市）

まちなかの動き

平成29年4月に小中一貫の伏虎義務教育学校が開校するほか、まちなかに3つの大学の誘致が進んでいる。



小中一貫校が平成29年4月に開校



伏虎義務教育学校

雄湊小学校跡地に東京医療保健大学
和歌山看護学部（仮称）を誘致
（平成30年4月 雄湊キャンパス開校予定）



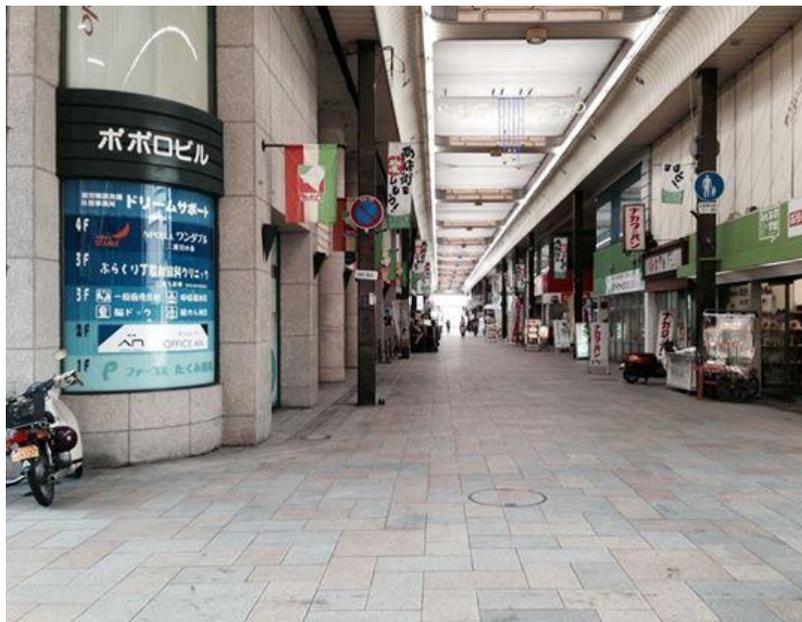
本町小学校跡地に大学を誘致
（和歌山信愛女学院と交渉中）



伏虎中学校跡地に
県立医科大学薬学部を誘致
（平成33年4月 開校予定）



ポポロハスマーケットの様子



まちなかのポテンシャル

